

3年ぶりに花炭づくりをしました。

花炭は素材をそのままの形で炭化させたものです。蓮のがく、栗のイガ、ヒョウタン、落花生なども今回作られていました。花炭は、五百年もの昔から、茶の湯などの茶室などで菊炭と共に使用され、飾り物としても使われていたようです。飾り炭や花炭の活性効果は、他の炭ほどではありませんが、インテリア等にもなります。



右のように籠等に入れて玄関等に置くと飾りのようになりますし、消臭にもいいですね。

まず缶にもみ殻を敷いてそのままの人もいますし、丁寧に一つずつアルミホイルで巻いてから缶に詰めた人もいました。（この写真は3年前のものです。）





ブロックや鉄の棒等を使い簡易五徳をつくり、缶を並べて火をつけました。



火の番も大変です。今回は温かくて暖をとる必要もなく暑いぐらいでした。これは寒いときにできる活動です。



今回も濡らした新聞でお芋を包みアルミホイルで包んだお芋も焼きました。美味しかった。  
火の番をして焼いてくれた人に感謝。お芋提供もありがとうございました。



そろそろ出来上がった缶を開ける人もいます。

缶の蓋にいくつかの穴を開けてあるのでその穴からの煙が白から無色に近くなるとできあがりです。

注意しないと缶の蓋が緩くて空気が入り中で燃えだしたのがあるのか、缶から炎がでていたのもありました。





これはまだ早かったようです。二段でしてたので、下はできているようです。



これは冷ます時間が短く早くて取りだしたので途中で燃えだしたようです。慌てて水で火を消していました。

これは比較的小さな缶を利用して、蓮のがくの炭を作っています。  
蓮のがくは他にも綺麗に出来上がっていました。





こんなものも綺麗に炭に、ほおずきです。すごい皆集まってみていました。



これもすごいです。丁寧に葉をアルミホイルで包んでいました。  
他にいがぐりも綺麗にできていました。







こんなに沢山作った人も

里山づくりの花炭窯でもつくりました。中にはこんな風に詰めて（少し出した後(^^)）



アルミホイルをほどいてみたら綺麗な竹の炭ができました。  
幾つかはピシと音がしてひびがはいったのもありました。





凝った人が竹でご飯やゆで卵を作っておひるごはんにした人も。一口美味しかった。



今回も楽しい活動でした。

花炭を今度いつするか分かりませんが、またしたいという声もありました。

クラフト活動に興味のある方ぜひ里山づくりの養成講座を一年受講し里山づくり隊に入  
って里山づくりの活動とクラフト活動しませんか。

養成講座現在 3月16日まで募集しています。



## ～飛鳥里山クラブの募集とお問合わせ先について～

現在、飛鳥歴史公園では、令和2年度の公園ボランティア養成講座受講生を募集しております。

詳細は下記PDFにてご確認ください。

<https://www.asuka-park.go.jp/cms/wp-content/uploads/b53398e7a45e7195d6b6874ac937d947-1.pdf>

■飛鳥管理センター内 飛鳥里山クラブ事務局

〒634-0144 奈良県高市郡明日香村大字平田 538

TEL : 0744-54-2441 FAX : 0744-54-46333